

山陰の風景観光まちづくりを考える

— モビリティ・デザインの視点から —

主催：松江工業高等専門学校

共催：(社)日本都市計画学会 中四国風景まちづくり研究会

たまに車を降りて松江の町を歩いてみる。そうするといろんな風景が見えてくる。車では見えなかった街並みや、堀川遊覧するひとたちの楽しそうな声に、軒先でお茶をたてて楽しむ人々の表情。しかし一方、わたしたちをとりまくこの町の風景は大きく変わろうとしています。

環境－経済－人口－エネルギー問題の複合化は、予想を上回るスピードで変化しています。私たちのまちの風景もその変化と無縁ではありません。欧州の都市を歩けば、LRTや自転車といったスモールモビリティが歴史的な風景に組み込まれ、住民にとっても、来訪する観光客にとっても、便利で魅力的な都市空間が、生かされる風景として展開されています。私たちは、クルマや公共交通、スモールモビリティといった様々なモビリティを山陰のこの地にどのように組み込んでいけばいいでしょうか。このセミナーでは、「モビリティ(移動)」をキーワードに、松江を中心とした山陰地方の魅力的なまちづくりについて考えてきたいと思います。

プログラム

開催挨拶

第一部 基調講演

文化を生かす観光：そのモビリティ戦略／東京大学 羽藤英二

第二部 事例報告

特別講演 世界のモビリティ戦略～都市交通の改善例～／広島大学名誉教授 杉恵頼寧

事例報告 松江の景観・交通まちづくり／松江工業高等専門学校 浅田純作

事例報告 中海・宍道湖・大山圏域の観光交通の実態／
松江工業高等専門学校 石田佳弘(5年生) 加藤史人(5年生)

第三部 意見交換

松江のモビリティ・デザインを考える

- 日 時 12月26日(金) 13:30～17:00
- 場 所 タウンプラザしまね 2F 交流スペース
- 定 員 50名
- 参加費 無料
- 申込締切 12月22日(月)

問い合わせ先
松江工業高等専門学校 村上
TEL 0852-36-5152 FAX 0852-36-5119
E-mail:mura@matsue-ct.ac.jp

申し込み方法
FAXまたはメールにて、住所・氏名・連絡先をご記入の上、上記へお申し込みください。

